

ちゃんと かわら版

千歳市立図書館では、4月23日から5月12日のこどもの読書週間に合わせて、「めざせ!としょかんはかせ!!」などさまざまなイベントが開催されました。これらの一環として5月11日に行われたのが「ワークショップ」



千歳市立図書館ワークショップ「親子でおりがみのうちをつくらう!」



親子でおりがみのうちをつくらう!」です。同館2階のAV室で行われた、このワークショップには親子9組21人が参加。入室すると、用意された、色とりどりの折り紙のなかから、それぞれが好きな色を4枚選

んで開催を待ちました。同館奉仕係の村上京香司書が、ワークショップ中の注意点を述べ、制作するおりがみのうちの見本を解説したあと、「ケガだけはないように、素敵なおうちをみんなで作

いさつをしました。作業がはじまると、幼児から小学3年生までの子どもたちは、おりがみのうちを4枚ずつ折り、これを各部屋と見立てて、部屋の内装を描き込んでいきます。色鉛筆やクレヨン、マジックなど同館が用意したもので、持参した画材も使い、真剣な表情で

各部屋の内装を描き、思い思いに家を完成させていました。参加した佐藤親子、伊知郎さん(8歳)とめぐみさんに感想を伺うと「どの部屋に何を描くかを決めるのが、しっかりと絵を描くのが難しかった」「子どもの想像力が感じられて良かったです」とのこと。3歳の凜さんと参加した父親の杉上隆久さんは「パパでもいいという娘の許可が出たので参加しました。子どもと一緒にものを作るよい機会でした」とにこやかに話しました。

(編集部 齋藤)

北海道千歳高等学校は「自分の可能性を信じることの重要性を知る」「失敗を恐れず挑戦する姿勢を養う」「社会で活躍する人の考え方に触れる」の3つを大きな目標に社会人講話「千高みらい」を開始しています。

講師の植松さんは北海道赤平市出身の58歳。北海道大学大学院の永田教授との出会いをきっかけに、現在は赤平市の植松電機で「ロケットの開発」「宇宙空間と同様の無重力状態を再現する」「微小重力の実験」



の人工衛星の開発」「アメリカ民間宇宙開発企業との協同事業」などの研究開発を進めています。そんな植松さんが中学生のときに「先生、僕は将来飛行機やロケットを作る仕事をしたいと言ったら、先生はそんなの東大に入らないと無理だ、おまえの頭では無理だと教えてくれました」。しかし、植松さんの母親は、否定も励ましもせず

「思うは招くよ」と言っただけです。その言葉を信じていたら「私はロケットが作れるようになったかった」。そのため植松さんは、人の自信と可能性が奪われない社会を目指し、各地で講演活動を続けています。柔らかな口調で、無限の可能性があると、夢を諦めないでほしいこと、否定的な大人のアドバイスを信じないことを語る植松さんの言葉に多くの生徒が魅了され、約2時間の長丁場となった第1回「千高みらい」は高い集聚力を保ったまま幕を閉じました。

(編集部 齋藤)



同校の生徒はもちろん、その保護者や関係者なども参加可能な第1回「千高みらい」として5月9日に株式会社植松電機の植松努代表取締役を招き「思うは招く」夢があればなんでもできる」を開催しました。

「思うは招くよ」と言っただけです。その言葉を信じていたら「私はロケットが作れるようになったかった」。そのため植松さんは、人の自信と可能性が奪われない社会を目指し、各地で講演活動を続けています。柔らかな口調で、無限の可能性があると、夢を諦めないでほしいこと、否定的な大人のアドバイスを信じないことを語る植松さんの言葉に多くの生徒が魅了され、約2時間の長丁場となった第1回「千高みらい」は高い集聚力を保ったまま幕を閉じました。

「思うは招くよ」と言っただけです。その言葉を信じていたら「私はロケットが作れるようになったかった」。そのため植松さんは、人の自信と可能性が奪われない社会を目指し、各地で講演活動を続けています。柔らかな口調で、無限の可能性があると、夢を諦めないでほしいこと、否定的な大人のアドバイスを信じないことを語る植松さんの言葉に多くの生徒が魅了され、約2時間の長丁場となった第1回「千高みらい」は高い集聚力を保ったまま幕を閉じました。



私たちが暮らすまちを考える トークセッションを開催

千歳市商業労働課主査(エリアマネジメント推進担当)は5月10日にまちライブラリー@ちとせで、トークセッション「私たちが暮らすまちを考える」こころの豊かさを育む「サードプレイス論」を開催しました。ゲストは、東京西麻布にある、老舗イタリアンレストラン「アルポルト」の片岡護オーナーシェフ、イタリア料理ブームの火付け役としても有名と、本を通じて人となつがる私設図書館の活動「まちライブラリー」の提唱者である磯井純充代表理事の2人。磯井代表理事は森ビル株式会社の取締役広報室長などを歴任し、まちづくりの知見を活かした活動により、まちライブラリーの登録は全国1200カ所以上に広がっています。そんな2人がアメリカの都市社会学者レイ・オルデンバーグが提唱する第3の居心地のよい場所



(編集部 齋藤)

「サードプレイス」について、「レストラン」と「民間図書館」という異なる視点から、その重要性と居心地の良い場所がまちの価値をどのように高めていくかを語りました。モデレーターはPRコンサルタント、コラムニストとして活動しながら、銀座と千歳で飲食店を経営するかずこママさん。西麻布でレストランを経営する片岡シェフと、六本木ヒルズをプロデュースした磯井代表理事のそれぞれの経験と知見に裏打ちされたサードプレイス論に約60人の参加者は熱心に耳を傾けました。

最後の質疑応答では「千歳の公立図書館は今後どうあるべきか?」という具体的な質問も飛び出し、磯井代表理事が建物中心ではない具体的な方策を熱意を込めて語るなど、自分たちの暮らす千歳のまちを改めてサードプレイスという視点から考え直すよい機会となりました。

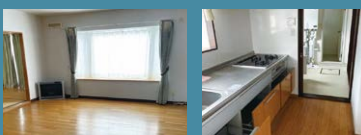
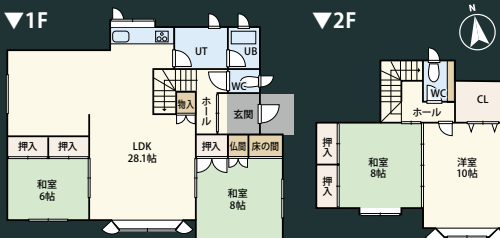
千歳市向陽台 中古戸建 見学受付中

所在地:千歳市柏陽3丁目11-2

販売価格 1,480 (税込) 万円

弊社が売主のため仲介手数料は発生しません

4LDK



- 交通:千歳相互バス「柏陽3丁目」駅徒歩3分 ●築年月:1988年12月
- 土地面積:326.75㎡(98.84坪) ●建物面積:168.34㎡(50.92坪)
- 建ぺい率:40% ●容積率:60% ●構造:木造2階建 ●駐車場:2台可
- 学区:泉沢小学校、向陽台中学校 ●引き渡し:相談 ●取引態様/売主



デザイナー 募集

正社員	
給 与	▶月220,000円〜 ※経験により優遇
時 間	▶9:00〜18:00(休憩80分) ※月曜は若干の残業があります。(月平均5h程度)
休 日	▶日曜、隔週土曜日(4週月は2回、5週月は3回)
待 遇	▶各社保完備
パート・アルバイト	
給 与	▶時給1,100円〜1,200円 ※経験により優遇
時 間	▶9:00〜18:00の間で応相談
勤 務	▶月〜金の週3日〜 ※休憩有、残業なし
共通項目	
期 間	▶雇用期間の定めなし
仕 事	▶「Q人ナビ」「ちゃんと」の紙面・広告制作
資 格	▶Illustrator・Photoshopの基本操作必須 ★InDesign使用できれば尚可★Webの知識がある方可
待 遇	▶交通費規定支給、車通勤可、昇給有、冬期・夏期手当支給、試用期間1ヵ月位有、受動喫煙対策有

まずはお気軽にお電話ください。採用担当/高橋

〒066-0073 千歳市北斗4丁目13-20
0123-27-0911

株式会社メディアコム